

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年11月7日
【四半期会計期間】	第22期第3四半期（自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日）
【会社名】	株式会社ベルパーク
【英訳名】	Bell-Park Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 西川 猛
【本店の所在の場所】	東京都千代田区平河町一丁目4番12号
【電話番号】	03(3288)5211
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 石川 洋
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区平河町一丁目4番12号
【電話番号】	03(3288)5211
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 石川 洋
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第22期 第3四半期連結 累計期間
会計期間	自 平成26年 1月 1日 至 平成26年 9月30日
売上高 (千円)	63,018,296
経常利益 (千円)	1,935,509
四半期純利益 (千円)	1,035,294
四半期包括利益 (千円)	1,035,365
純資産額 (千円)	14,482,012
総資産額 (千円)	29,230,712
1株当たり四半期純利益金額 (円)	161.06
潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益金額 (円)	159.77
自己資本比率 (%)	49.3

回次	第22期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自 平成26年 7月 1日 至 平成26年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	40.91

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には消費税等は含まれておりません。

3. 当社は、第1四半期連結累計期間に子会社を取得したことに伴い、第1四半期連結累計期間から四半期連結財務諸表を作成しております。

#### 2【事業の内容】

当社が平成26年2月10日に株式会社OCモバイルの株式を取得したことに伴い、当社グループは当社及び子会社1社により構成されることとなりました。当社グループは情報通信機器販売サービス事業を展開しており、当第3四半期連結累計期間において、営む事業の内容に重要な変更はありません。

なお、株式会社OCモバイルは、平成26年10月1日付で株式会社ベルパークネクストに社名変更しております。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更があった事項は、次のとおりであります。

なお、文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日において当社グループが判断したものであります。

（消費者保護ルールの見直し・充実について）

総務省は、平成26年2月より「ICTサービス安心・安全研究会」を開催し、消費者保護ルールの見直し・充実、通信サービスの料金その他の提供条件の在り方等への対応について、検討を重ねております。平成26年9月に公開された「ICTサービス安心・安全研究会報告書（案）」においては、初期契約解除ルールの導入が提言され、平成26年10月には、平成27年5月1日以降新たに発売される端末について適用される「SIMロック解除に関するガイドライン」の改正案が公開されました。今後、関連する法令の改正等によっては、携帯電話市場全体、当社の事業及び業績に重大な影響を及ぼす可能性があります。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日において当社グループが判断したものであります。また、第1四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期等との比較分析は行っておりません。

#### (1) 業績の状況

当社グループの主な事業領域であります携帯電話等販売市場は、平成26年3月まで、高額キャッシュバックによるのりかえ(MNP)顧客の獲得競争が過熱しておりましたが、4月以降は一転して落ち着いた状態となりました。9月に新型iPhoneが発売され、販売台数は機種変更を中心に盛り上がりを見せております。

このような事業環境の中で、当社グループは音声端末の販売に注力するとともに、CS(お客様満足度)の向上に取り組みました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高63,018百万円、営業利益1,878百万円、経常利益1,935百万円、四半期純利益1,035百万円となりました。

ご参考として、前第3四半期累計期間における業績は、売上高60,399百万円、営業利益2,550百万円、経常利益2,661百万円、四半期純利益1,467百万円となっております。

[ご参考：当社グループ運営店舗数]

平成26年2月10日に株式会社OCモバイルを完全子会社化したことにより、ソフトバンクショップ8店舗(直営7店舗、フランチャイズ1店舗)、ドコモショップ8店舗(すべて直営)、auショップ6店舗(直営4店舗、フランチャイズ2店舗)が当社グループに加わりました。これに伴い当社グループは、ドコモショップを二次代理店として、ソフトバンクショップ及びauショップについては一次代理店として運営する体制となりました。また、ソフトバンクショップの新規出店等により、当社グループが運営する主要3キャリアのキャリア認定ショップ数は、ソフトバンクショップ243店舗、ドコモショップ8店舗、auショップ7店舗となりました。

(平成26年9月末時点)

	直営店	フランチャイズ	計
ソフトバンクショップ	184	59	243
ドコモショップ	8	-	8
auショップ	5	2	7
ワイモバイルショップ(注)	6	3	9
Apple関連	3	-	3
合計	206	64	270

(注)平成26年8月1日より、「ウィルコム」のブランド名が「ワイモバイル」に変更されました。

#### (2) 財政状態

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、29,230百万円となりました。

流動資産の主な内訳は、現金及び預金が9,277百万円、売掛金が11,300百万円及びたな卸資産が4,252百万円となりました。

固定資産の内訳は、有形固定資産が1,147百万円、無形固定資産が451百万円及び投資その他の資産が2,091百万円となりました。

流動負債の内訳は、買掛金が11,535百万円、未払法人税等が296百万円、賞与引当金が503百万円及び流動負債その他が1,897百万円となりました。

固定負債は、515百万円となりました。

純資産の主な内訳は、資本金が1,148百万円、資本剰余金が1,872百万円、利益剰余金が11,980百万円及び自己株式が610百万円及び新株予約権が82百万円となりました。この結果、自己資本比率は49.3%となりました。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期累計期間において当社が対処すべき課題について、重要な変更はありません。

#### (4) 研究開発活動

該当事項はありません。

#### (5) 従業員数

当第3四半期連結累計期間において、子会社取得等に伴う事業規模の拡大により、423名増加しております。なお、従業員数は、当社グループ外から当社グループへの出向者を含む就業人員数であります。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	26,370,000
計	26,370,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成26年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成26年11月7日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	6,732,600	6,732,600	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	株主としての権利内容に制限 のない標準となる株式であり ます。なお、単元株式数は、 100株であります。
計	6,732,600	6,732,600	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金 残高(千円)
平成26年7月1日～ 平成26年9月30日	-	6,732,600	-	1,148,322	-	1,602,729

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、直前の基準日(平成26年6月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成26年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 318,700	-	株主としての権利内容に制限のない標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,412,800	64,128	同上
単元未満株式	普通株式 1,100	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	6,732,600	-	-
総株主の議決権	-	64,128	-

(注)「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式28株が含まれております。

【自己株式等】

平成26年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社ベルパーク	東京都千代田区平河町一丁目4番12号	318,700	-	318,700	4.73
計	-	318,700	-	318,700	4.73

(注)上記のほか、単元未満株式として自己株式28株を所有しております。

2【役員】の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において役員の変動はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

なお、当社は、第1四半期連結累計期間に子会社を取得したことに伴い、第1四半期連結累計期間から四半期連結財務諸表を作成しております。そのため、比較情報は記載しておりません。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成26年1月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間  
(平成26年9月30日)

<b>資産の部</b>	
流動資産	
現金及び預金	9,277,356
売掛金	11,300,042
たな卸資産	4,252,505
その他	713,321
貸倒引当金	4,248
流動資産合計	25,538,977
固定資産	
有形固定資産	1,147,953
無形固定資産	
のれん	293,513
その他	158,412
無形固定資産合計	451,926
投資その他の資産	
敷金	1,681,221
その他	413,183
貸倒引当金	2,550
投資その他の資産合計	2,091,855
固定資産合計	3,691,735
資産合計	29,230,712
<b>負債の部</b>	
流動負債	
買掛金	11,535,760
未払法人税等	296,297
賞与引当金	503,634
その他	1,897,667
流動負債合計	14,233,360
固定負債	
退職給付引当金	163,344
資産除去債務	280,031
その他	71,964
固定負債合計	515,339
負債合計	14,748,700
<b>純資産の部</b>	
株主資本	
資本金	1,148,322
資本剰余金	1,872,489
利益剰余金	11,980,175
自己株式	610,517
株主資本合計	14,390,470
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	9,262
その他の包括利益累計額合計	9,262
新株予約権	82,279
純資産合計	14,482,012
負債純資産合計	29,230,712



(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	63,018,296
売上原価	49,222,806
売上総利益	13,795,489
販売費及び一般管理費	
販売促進費	1,860,430
給料	3,618,726
雑給	152,775
賞与引当金繰入額	503,634
退職給付費用	24,644
地代家賃	1,348,755
その他	4,407,723
販売費及び一般管理費合計	11,916,689
営業利益	1,878,799
営業外収益	
受取保険金	3,320
保険配当金	3,174
為替差益	39,319
その他	24,780
営業外収益合計	70,594
営業外費用	
支払利息	2,706
賃貸費用	5,400
その他	5,777
営業外費用合計	13,884
経常利益	1,935,509
特別利益	
固定資産売却益	841
特別利益合計	841
特別損失	
会員権評価損	4,647
特別損失合計	4,647
税金等調整前四半期純利益	1,931,703
法人税、住民税及び事業税	1,022,449
法人税等調整額	126,041
法人税等合計	896,408
少数株主損益調整前四半期純利益	1,035,294
四半期純利益	1,035,294

【四半期連結包括利益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間  
(自平成26年1月1日  
至平成26年9月30日)

少数株主損益調整前四半期純利益	1,035,294
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	71
その他の包括利益合計	71
四半期包括利益	1,035,365
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	1,035,365
少数株主に係る四半期包括利益	-

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

第1四半期連結累計期間において、新たに取得した株式会社OCモバイルを連結の範囲に含め、四半期連結財務諸表を作成しております。

なお、株式会社OCモバイルは、平成26年10月1日付で株式会社ベルパークネクストに社名変更しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

当社においては、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行4行と当座貸越契約を締結しております。これらの契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)	
当座貸越極度額の総額	8,000,000千円
借入実行残高	-
差引額	8,000,000

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	
減価償却費	221,234千円
のれんの償却額	53,889

(株主資本等関係)

当第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額(千円)	1株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年3月26日 定時株主総会	普通株式	129,134	20	平成25年12月31日	平成26年3月27日	利益剰余金
平成26年8月8日 取締役会	普通株式	96,208	15	平成26年6月30日	平成26年9月8日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

(自己株式の取得について)

当社は平成26年3月26日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議し、当第3四半期連結累計期間において、自己株式104,004千円を取得しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、情報通信機器販売サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	161円06銭
(算定上の基礎)	
四半期純利益金額(千円)	1,035,294
普通株主に帰属しない金額(千円)	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	1,035,294
普通株式の期中平均株式数(株)	6,427,989
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	159円77銭
(算定上の基礎)	
四半期純利益調整額(千円)	-
普通株式増加数(株)	52,025
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

平成26年8月8日開催の取締役会において、平成26年6月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

- |                       |           |
|-----------------------|-----------|
| (イ) 配当金の総額            | 96,208千円  |
| (ロ) 1株当たり配当額          | 15円       |
| (ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日 | 平成26年9月8日 |

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年11月6日

株式会社ベルパーク  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 金塚 厚樹 印  
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 塚原 克哲 印  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ベルパークの平成26年1月1日から平成26年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成26年1月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ベルパーク及び連結子会社の平成26年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。  
2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。